

# 令和4年度(公社)新潟県観光協会 「研修・セミナー」メニュー一覧

## DMO等連携支援事業

### ○セミナーと定期報告会【zoom】 4月22日(金) 8月 11月 2月

【目的】①セミナー / 新潟の新しい切り口を見つけ出すセミナー。新しい視点、気付きを見つけしていきます。

②定期報告会 / 各事業成果の共有し、エリア間の進捗を確認することで足並みを揃えます。

【対象】市町村・市町村観光協会、当協会の会員、文化・スポーツ団体の関係者事業者、農漁業関連事業者、グリーン・ツーリズム推進協議会の会員など

【概要】(株)Intheory村木智裕氏をはじめ、地球科学者・巽好幸氏、東洋文化研究者・アレックス・カー氏などによるセミナーを年4回開催。定期報告会ではデータマーケティングの報告を中心に事業成果の共有などを行っていきます。



### ○おもてなし研修【zoom】 時期・回数を調整中

【目的】従来の“単なる施設案内”ではなく、ストーリーで地域を語ることの出来る人材を育てる、そして、発掘します。

【対象】宿泊施設(フロント等)、案内人(ツアーガイド等)、観光施設等

【概要】カスタマイズしたストーリーの提供を出来るような仕組みを作り上げていきます。地域のストーリーを語るためのステップをシリーズ講座で学んでいきます。

## 観光人材育成事業

### ○いろは研修【zoom】 4月13日(水)

【目的】観光業界「初任者」が観光の“いろは”を学ぶための研修

【対象】新規観光担当者

【概要】「旅行商品が出来るまで」「情報が露出するまで」、この仕組みを学びます。



### ○ケーススタディ勉強会【zoom】 5月～7月(合計4回)

【目的】・他地区事例を通して、エリア等で実際に業務に活かしていくための知識を学びます。

【対象】行政・観光協会の中堅スタッフ、民間事業者、当協会の会員 等

【概要】セミナー形式での実施



### ○デジタル化研修【対面式】 10月～11月(合計3回)

【目的】・Googleを活用した店舗情報のオンライン化推進(マップ活用、予約決済連動、UAによる分析等)

・MEOの知識習得～実践

【対象】民間事業者が中心 ※市町村・市町村観光協会も参加はOK

【概要】・ワークショップを3回(インプット～実践編～まとめ)

・SNSグルーピングによる継続的なフォロー



## インバウンドカレッジ

【対面式】

時期・回数を調整中

- 【目的】 県内事業者におけるインバウンド専門人材の育成
- 【対象】 民間事業者等
- 【概要】 造成、情報発信、受入体制を含むインバウンドに対応するための一連の育成プログラムを実施。



## 観光人材合宿

【対面式】

1回

下期を予定

- 【目的】 県内市町村観光協会プロパーの育成とネットワークづくり
- 【対象】 県内市町村観光協会プロパー職員
- 【概要】 グループワーク+意見交換+ネットワーキングタイムの構成で実施（1泊2日の合宿形式も想定）。



## 観光業界に触れるセミナー

【対面式】

1回

時期を調整中

- 【目的】 未来の観光人材となり得る県内の大学生への観光業界オリエンテーション。県内大学生と観光業界に関わる当協会の会員企業を繋ぐ。
- 【対象】 県内大学生（1～2年）
- 【概要】 観光関連業界の分野別での事業者によるプレゼンテーション+ネットワーキング



## インバウンド向け体験型旅行商品造成 支援ワークショップ

【対面式】

3回

時期を調整中

- 【目的】 インバウンド向けの体験コンテンツの造成および流通拡大のための海外OTA登録の促進を図る。
- 【対象】 民間事業者、市町村、観光協会
- 【概要】 訪日旅行者向け体験型プランの造成に向け、海外OTAと連携したワークショップを開催し、商品のオンライン販売を支援する。



＼各研修・セミナーのお問合せはエリア担当まで／

公益社団法人 新潟県観光協会

電話 025-283-1188 FAX 025-283-4345

E-Mail [umasa@niigata-kankou.or.jp](mailto:umasa@niigata-kankou.or.jp)